

## 京都スマートシティエキスポ 2023

## 安寧で持続的な未来を創る地域と産業

## 「超快適」スマート社会の創出

西博に合わせた「けいはんな万博」 知の拠点 発信  
西博に合わせた「けいはんな万博」 知の拠点 発信

関西文化学術研究都市推進機構  
理事長

堀場 厚氏

2025年の大阪・関  
西博に合わせた「けい  
はんな万博」 知の拠点 発信

はんな万博では、知  
識として世界に発信す  
る準備を進めている。けい  
はんな地区は、多くの企業、  
研究者がだけでなく3000  
人を超える地  
域住民が実証実験に加わっ  
ていて、検証事業を行っ  
る。



京都府知事 西脇 隆俊氏  
に於ける世界的な課題に  
取り組むフードテック関  
連企業の集積拠点「けい  
はんなフードテックヒル」  
形成を目指してい  
ます。イベントと  
して「京都フ  
ードテックエ  
キスポ」を開催する。先端  
技術と伝統的  
な食文化の融  
合に期待す  
る。



京都スマートシティエキスポ  
運営協議会会長 村尾 修氏  
2日にわたり60に及ぶ  
全国の自治体のDX(デ  
ジタル変革)への取り組  
みも紹介す  
る。ビジネス  
展示も多岐に  
わたる。さま  
ざまな地域課  
題が顕在化す  
る中、スマ  
ートディー推  
進を目的にス

講演・セミナーを開く。ジ  
タル変革への取り組  
みも紹介す  
る。ビジネス  
展示も多岐に  
わたる。さま  
ざまな地域課  
題が顕在化す  
る中、スマ  
ートディー推  
進を目的にス

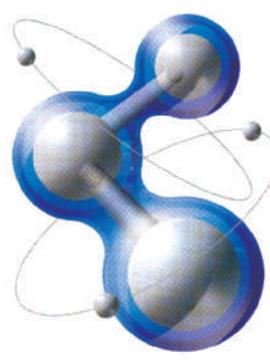
オープンイノベーション創出 期待

も、今回10回目を迎  
た。今日はさまざまなス  
タートアップ企業の展示や  
ピッチ会(プレゼンテ  
ーション)からなる「スタ  
ートアップフェス」を立  
ち上げ、30社を超える企  
業が参加する。けいはん  
マートシティーをキーワ  
ードとするオープンイ  
ノベーション創出を期待す  
る。

アートとテクノロジー融合

京都府はアートとテク  
ノロジーを融合させた新  
しい産業を想像するため  
の拠点「アート&テクノ  
ロジー・ヴィレッジ京  
都」(ATV-K、大山崎  
町)を開設する。府内各  
地に設ける産業創造リ  
ーディングセンターを通じ  
世界的なオープンイノベ  
ーションの拠点を目指  
す。エキスポがそれを牽  
引する力となる。

「京都スマートシティエキスポ2023」が10月5、6日の西博、けいはんなオーブンイノベーションセンター(KI-C)、京都府精華町など)で開かれた。10回目の開催で「安寧で持続的な未来を創る地域と産業『超快適』スマート社会の創出」をテーマに、企業・自治体などの先端的な取り組みの展示や、国内外の登壇者による講演・セミナーが開かれ、1万人以上が来場した。社会実装やイノベーション創出につながる内容が強化され、「京都フードテックエキスポ2023」も新たに設けた。VR(仮想現実)展示は、22日まで開催中。



モノづくり日本会議

モノづくりへの挑戦

## 多彩な展示・イベント盛況



同時開催のビジネスメッセ

スペイン・バルセロナ  
と連携したスマートシティ  
エキスポの第1回は2014年に開催された。そ  
の後毎年開催し、コロナ禍においてはオンライン  
で開催された。人口減少と環境問題を大きな柱に  
して、一方での急速な都市化の進展や、京  
都におけるオーバーフローへの対応が課題とな  
った。そこで、様々な社会課題も10年間で顕在化して  
いる。こうした課題の解決に向けた最先端のスマートシ  
ティ技術が毎回示されてきた。スマートシティ実現  
に向けDXを取り組む全

国自治体を紹介する全  
国自治体交流シンポジウムでは環境省地域から  
のスマートシティ技術が開催された。大野木啓  
也大学院日本ネットワークが登壇した。

スマートシティ実現に向けDXを取り組む全  
国自治体を紹介する全  
国自治体交流シンポジウムでは環境省地域から  
のスマートシティ技術が開催された。大野木啓  
也大学院日本ネットワークが登壇した。